



# 俺たち



クロウニン

# 展

なまずの里福祉会「ひだまり」に集う面々が墨書と絵画のアートに挑む！

- ★場所 吉川市民交流センターおあしす 多目的ホール  
郵便番号342-0058 吉川市きよみ野一丁目1  
※JR武蔵野線「吉川駅」で下車し、バスでお越しになれます。
- ★1日目 平成27年2月7日(土) 12:00~18:00  
\*墨書 般若心経とつぶやき言葉の展示  
\*絵画 タノシイ色あそびから生まれた作品  
\*アートグッズ販売  
\*特別企画講演会 『伝えること、表現すること』 14:00~15:00  
なまずの里福祉会理事長 星座正俊
- ★2日目 平成27年2月14日(土) 12:00~18:00  
\*7日の展示と同じ(一部入れ替えあり)  
\*アートグッズ販売  
\*特別企画 映画『遠足』上映 14:00~15:20  
オーストリアのアールブリュット作家たちのドキュメンタリー映画

\*\*会場の都合により2日だけの展示となります。

## ■『俺たち苦勞人展』に寄せて

縁あって、『ひだまり』で昨年7月より月2回アートワークを提供させていただく機会が与えられました。墨あそび(墨書)と絵のじかんです。当初メンバーさんたちは『上手に書けない。描けない。』とワークに消極的でした。最初にメンバーさんたちに伝えたのは『上手に書くことはやめて、いかにヘタクソに書くか、が大事です。』と。いわゆる書道ではなく、墨あそびは一人ずつ向き合いながらおしゃべりを楽しみ、そこから吐き出されたツブヤキのようなコトバを書き表したものです。足で書いたり、利き手ではない手で筆を持って書いたり・・・

ここに集う人たちは病気を抱えたり、周囲との折り合いがうまくいかないなど、一人ひとりがこれまでの人生でそれぞれの『苦勞』を背負っています。とかく『障がい』とか『症状』とかで括られてしまっていますが、そうではなくてその人の『苦勞』として受け止めたいと思うのです。なかなか言葉にならないコトバを吐き出してみる。書き表わしてみる。そしてそれを一緒に眺める。そのときささやかなシアワセも見えてきます。

絵画も自由に一人一人の個性に合わせて表現していただきました。サポーターとしてはメンバーさんたちが『絵はこうあるべきだ。』『書はこうあるべきだ。』という固定概念から自由に解放されることを心掛けました。願わくば褒め讃えられるべき『苦勞』を、作品を通して感じていただければ幸いです。

アートサポーター NPO法人ながのアートミーティング 関 孝之



主催 : ひだまりアート&スポーツクラブ  
共催 : NPO法人なまずの里福祉会  
吉川市川藤155  
お問合せ : ひだまり 石原、諏訪  
048-982-0313